

訂 正 表

平成 24 年 7 月 6 日（金）
内閣官房国家戦略室

本年 6 月 29 日に公表しました「エネルギー・環境に関する選択肢」について、一部内容に誤りがありましたので訂正させていただきます。関係者の皆様には御迷惑をおかけすることとなり誠に申し訳ございません。

【訂正内容】

「エネルギー・環境に関する選択肢」

10 ページ

訂正箇所：

- ・ 温室効果ガスの排出量は 1990 年比約 16%減となる。15 シナリオの約 23%減、20～25 シナリオの約 25%減と比べると削減幅は小さい。化石燃料の輸入額は現状と同水準の 17 兆円であり、15 シナリオの ~~15~~16 兆円、20～25 シナリオの ~~14~~15 兆円よりも多い。

11 ページ

訂正箇所：

- ・ 化石燃料依存度は約 55%になる。現状の 65%程度よりも約 10%下がる。
化石燃料輸入額は現状 17 兆円が 2030 年に約 ~~15~~16 兆円となる。

12 ページ

訂正箇所：

- ・ 化石燃料依存度は約 50%と現状よりも約 15%下がる。
化石燃料輸入額は現状 17 兆円が 2030 年に約 ~~14~~15 兆円となる。

訂正箇所：
表 2 中、下記部分。

エネルギー の強化 の強化 の強化	化石燃料依存度	約63%	70%(+5%)	65%(現状程度)	55%(▲10%)	50%(▲15%)
	化石燃料輸入額 (一次エネルギー供給ベース)	17兆円	17兆円	16兆円	15 16兆円	14 15兆円
			(留意事項) 規制と負担を伴う強度の対策を実施し、天然ガスシフトを他のシナリオよりも進める。安定かつ安価な天然ガスの調達が大きな課題となる。			

(本件に関する問い合わせ先)

内閣官房国家戦略室

担当者：今井、五味

電話：03-3581-9218 (直通)